

低炭素地域づくり面的対策推進事業(鹿児島県 鹿児島都市圏) 人口73万人

事業概要

鹿児島都市圏では、自動車依存が進行するとともに、公共交通機関の利用者が減少しており、都市部に比べて運輸部門のCO2排出量が多くなっている。そこで、適正な自動車利用、公共交通機関の利便性向上を図るために、地域と一体となった自動車利用抑制施策について検討を行い、低炭素型都市構造を模索する。

実施主体

鹿児島都市圏地球温暖化防止交通対策協議会

(鹿児島大学、国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所調査課、国土交通省九州運輸局鹿児島運輸支局、鹿児島県環境生活部環境政策課、鹿児島県警察本部交通部交通規制課、鹿児島市企画部交通政策課、鹿児島市環境局環境部環境政策課、鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター、鹿児島商工会議所、鹿児島経済同友会、WeLove天文館協議会、(社)鹿児島県バス協会、九州旅客鉄道(株)鹿児島支社、鹿児島交通(株)、南国交通(株)、いわさきバスネットワーク(株)、鹿児島市交通局、JR九州バス(株)鹿児島支店、鹿児島県企画部交通政策課、(株)ケー・シー・エス九州支社)

①公共交通の利用促進に向けたニーズ把握調査

7月～9月

公共交通機関への利用転換を図るための利用者ニーズの把握

鹿児島市中心部への就業者に対して、転換可能な通勤形態、転換するための要因等を把握

②公共交通への転換事業

10月～11月

公共交通機関への転換を図るために、以下を実施

①バスの情報提供による新たな需要喚起事業

- ・路線バスの系統番号の付与
- ・事業者横断的なバスマップの作成
- ・エコ通勤ガイドの作成 など



②エコICカードを用いたインセンティブ付与に関する需要喚起事業

- ・ICカードを用いた中心市街地来訪を促すインセンティブの検討
- ・中心市街地などと協働したインセンティブの付与 など



業務対象地域